

1 単元の目標

- (1) 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。
[知識及び技能] (2)ア
- (2) 目的や場面に応じて、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。
[思考力、判断力、表現力等] A(1)ア
- (3) 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。
[思考力、判断力、表現力等] A(1)オ
- (4) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
「学びに向かう力、人間性等」

2 本単元における言語活動

討論をする。(関連:[思考力、判断力、表現力等] A(2)イ)

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	①「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ②「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(A(1)オ)	①進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。

4 指導と評価の計画 (全5時間)

時	主な学習活動	評価する内容	評価方法
1	○学習の見通しをもつ。 ○討論のテーマを知り、それぞれの立場における意見の根拠となる情報を収集する。		
2	○討論のテーマについて、チーム内の役割(意見・質疑・反論)において発言する内容を検討する。	[知識・技能] ① [思考・判断・表現] ①	ワークシート ワークシート
3	○テーマごとに立場をローテーションしながら討論をする。	[思考・判断・表現] ②	観察・ワークシート
4	○討論を振り返り、再度討論をするとした場合に発言する内容を検討する(「リトライタイム」)。	[主体的に学習に取り組む態度] ①	観察・ワークシート
5	○討論を通して学習したことを振り返る。 ○単元全体の学習の振り返りをする。		

【単元の流れ】

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等																
1	○学習の見通しをもつ。 ○討論のテーマを知り、それぞれの立場における意見の根拠となる情報を収集する。 テーマ①:中学生にスマートフォンは必要か テーマ②:中学校に宿題は必要か テーマ③:中学校に定期試験は必要か	・単元の目標や、討論をしている様子の動画を示すことで、学習の見通しをもつことができるようにする。 ・討論のテーマや、テーマごとに肯定・否定・審判の中でどの立場に立つのかを確認する。また、ワークシートを配付することで、意見の根拠となる情報を収集し、整理できるようにする。 ・討論をしている様子の動画では、どのような情報が根拠として示されていたか想起するように促す。このことで、意見の根拠として、客観的で信頼性の高い情報を収集できるようにする。 ・テーマごとの、チーム内の役割(意見・質疑・反論)を決めるように伝える。																	
2	○討論のテーマについて、チーム内の役割(意見・質疑・反論)において発言する内容を検討する。	・異なる立場の意見や反論などを想定するように促すことで、収集した情報を基に、各役割における発言する内容を検討することができるようにする。 ・討論をしている様子の動画では、どのように根拠が示されていたかを想起するように促す。このことで、根拠がどのように意見を支えるのかを明確にすることや、根拠を複数示すことが、意見の説得力を高めることにつながることに気付くことができるようにする。	[知識・技能] ① ワークシート ・ここでは、ワークシートに、発言する内容として、意見とそれを裏付ける根拠を記入しているかを確認する。 [思考・判断・表現] ① ワークシート ・ここでは、テーマについて多角的に吟味して、異なる立場の意見や反論などを想定した上で、討論で発言する内容を検討しているかを確認する。																
3	○テーマごとに立場をローテーションしながら討論をする。	・テーマごとにチーム内の役割や討論の流れを確認するように伝えることで、発言するタイミングや内容について把握した上で討論に臨むことができるようにする。 ・単元の目標や討論をする上での留意点を確認することで、互いの立場や意見を尊重しながら討論を進めることや、結論を導くために意見をまとめることを意識できるようにする。	[思考・判断・表現] ② 観察・ワークシート ・ここでは、相手の意見の背景を吟味したり、互いの発言の共通点や相違点、論点を踏まえたりしながら討論を進め、結論に向けて考えをまとめているかを確認する。																
4	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>テーマ①</th> <th>テーマ②</th> <th>テーマ③</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>A</th> <td>肯定</td> <td>審判</td> <td>否定</td> </tr> <tr> <th>B</th> <td>否定</td> <td>肯定</td> <td>審判</td> </tr> <tr> <th>C</th> <td>審判</td> <td>否定</td> <td>肯定</td> </tr> </tbody> </table>		テーマ①	テーマ②	テーマ③	A	肯定	審判	否定	B	否定	肯定	審判	C	審判	否定	肯定		
	テーマ①	テーマ②	テーマ③																
A	肯定	審判	否定																
B	否定	肯定	審判																
C	審判	否定	肯定																

	<p>○討論を振り返り、再度討論するとした場合に発言する内容を検討する(「リトライタイム」)。</p>	<p>【討論をする上での留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の意見の根拠に注意して聞き、意見の背景を吟味する ・互いの発言の共通点や相違点、論点を明確にする ・論点が大きくずれたり、時間を大幅に超過したりするなど、進行する上で問題が生じた場合は、討論を中断し、円滑に討論が進まない原因を考えるように促す。このことで、原因を把握し、解決に向けてどのように発言するべきか考えることができるようにする。 ・全てのテーマで討論をしたあと、「リトライタイム」として、各討論を振り返り、「もし、同じテーマや立場、役割でもう一度発言するとしたら、どのような内容にするか」「もし、異なる立場や役割で発言するとしたら、どのような内容にするか」の2つの課題に取り組むように促す。このことで、討論で学習したことを生かしながら、再度、発言する内容について考えることができるようにする。 	<p>[主体的に学習に取り組む態度] ① 観察・ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、相手の意見の背景を吟味したり、互いの発言の共通点や相違点、論点を踏まえたりしながら討論を進め、結論に向けて考えをまとめようとしているかを確認する。 <p>※本評価は第5時の振り返りの記述と合わせて評価する。</p>
<p>5</p>	<p>○討論を通して学習したことを振り返る。</p> <p>○単元全体の学習の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・討論や「リトライタイム」で考えた発言する内容について、なぜそのように発言するのか、理由を記述するように伝える。このことで、互いの立場や意見を尊重しながら討論を進め、結論を導くために考えをまとめるためには、意見の背景を吟味したり、互いの発言の共通点や相違点、論点を踏まえて発言したりするなどことが重要であることに気付くことができるようにする。 ・以下の振り返りの視点を確認し、学習計画表に記述するように伝える。 <p>【振り返りの視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の単元で身に付いた力 ・身に付いた力を生かすことができるような場面 	